

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1. 全体の概況

売上高と収益性を合せたD I 平均値(前年同期比)については▲13.0 となり、前回調査(26年7-9月期)の▲12.6 から0.4ポイント下降している。来期見通しにおいては、さらに6.8ポイント下降して▲19.8となる見通しになっている。

売上高D I (前年同期比)については▲7.9 となり、前回調査の▲9.9から2.0ポイント上昇している。来期見通しにおいては9.0ポイント下降して▲16.9となる見通しになっている。

収益性D I (前年同期比)については▲18.1 となり、前回調査の▲15.3から2.8ポイント下降している。来期見通しにおいては4.5ポイント下降して▲22.6となる見通しになっている。

業況D I (前年同期比)については▲12.5 となり、前回調査の▲15.6から3.1ポイント上昇している。来期見通しにおいては4.2ポイント下降して▲16.7となる見通しになっている。前期比では、「好転」したとする企業が9.4%、「悪化」したとする企業が24.0%で、D I は▲14.6 となり、前回調査の▲12.4より2.2ポイント下降している。同じく前期比での業況見通しは、「好転」するとした企業が12.2%、「悪化」するとした企業が23.5%で、D I は▲11.3となる見通しになっている。

原材料価格D I (前期比)については「上昇」したとする企業が36.8%、「下降」したとする企業が4.0%で32.8 となり、前回調査の25.9から6.9ポイント上昇している。

販売価格D I (前期比)については「上昇」したとする企業が8.6%、「下降」したとする企業が7.1%で1.5 となり、前回調査の▲2.1から3.6ポイント上昇している。

資金繰りD I (前期比)については「好転」したとする企業が4.1%、「悪化」したとする企業が17.4%で▲13.3 となり、前回調査の▲13.9から0.6ポイント上昇している。

金融機関の態度D I (前期比)については「緩和」したとする企業が7.2%、「硬化」したとする企業が4.6%で2.6 となり、前回調査の▲1.6から4.2ポイント上昇し緩和している。

設備投資実施率については23.4%となり、前回調査より3.3ポイント下降している。業種別で最も高い実施率となったのは「プラスチック製品」の42.9%で、目的別では「品質向上」が32.5%、次いで「増産」、「コスト低減」が25.0%、「省エネ」が12.5%となっている。











設備操業率D I (前期比)については「上昇」したとする企業が14.2%、「下降」したとする企業が19.1%で▲4.9 となり、前回調査の▲14.7から9.8ポイント上昇している。

全体の景況天気図は前回同様「小雨」が続いており、来期見通しにおいても「小雨」が続く見通しとなっている。

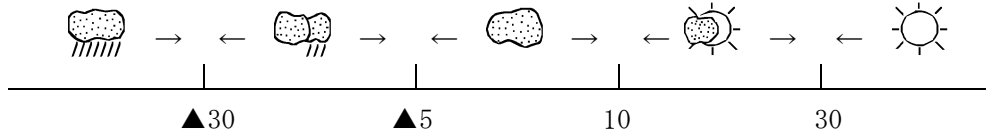
業種別に見ると、「窯業・土石製品」は▲1.7と前回調査の「小雨」から「曇」へ唯一回復している。反面、「紙・加工品」は▲7.7と「薄日」から「小雨」、「繊維・同製品」は▲30.3と「小雨」から「雨」へ前回調査と比べそれぞれ悪化。「プラスチック製品」は28.6で「薄日」、「金属・同製品」は▲6.7で「小雨」、「機械・機器」は▲11.7で「小雨」、「食料品」は▲10.9で「小雨」、「木材・木製品」は▲59.1で「雨」となっており、それぞれ前回調査同様となっている。

来期見通しにおいては、「プラスチック」は「薄日」から「小雨」、「窯業土石製品」は「曇」から「小雨」へそれぞれ悪化。「金属・同製品」、「食料品」、「紙・加工品」、「機械・機器」は「小雨」、「繊維・同製品」、「木材・同製品」は「雨」が続く見通しとなっており、回復する見通しの業種はなかった。

【図表 1】

	24	25				26				来 期 見 通
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	
全 体	 ▲27.6	 ▲30.6	 ▲19.4	 ▲16.2	 ▲7.7	 2.9	 ▲3.2	 ▲12.6	 ▲13.0	 ▲19.8

※景況天気図は「売上高」「収益性」(前年同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



【図表 2】

